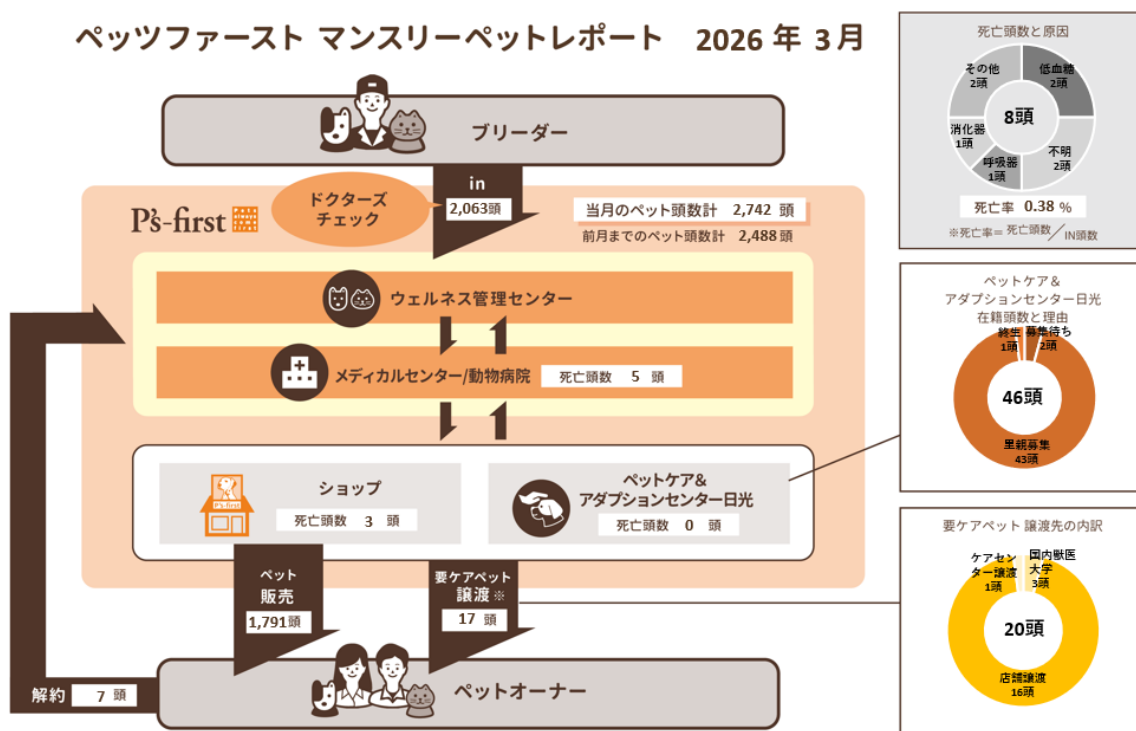


2026年5月13日
 ペッツファーストホールディングス株式会社

ペッツファーストグループ マンスリーペットレポート
 2026年3月度

“Pets always come first”を理念に掲げるペッツファーストホールディングス株式会社（本社:東京都目黒区、代表取締役:坂本晴彦）は、ペットショップ「P's-first」直営店の2026年3月度における流通過程の重要指標をご報告いたします。

ペッツファースト マンスリーペットレポート 2026年3月



※要ケアペット・・・お迎え前に疾患が発見され、メディカルセンター/動物病院で治療後に十分な経過観察期間を経て譲渡する、継続的なケアや検査が必要なペット。

■ 2026年3月度の流通過程における重要数値の結果報告

【契約ブリーダーとの取引について】

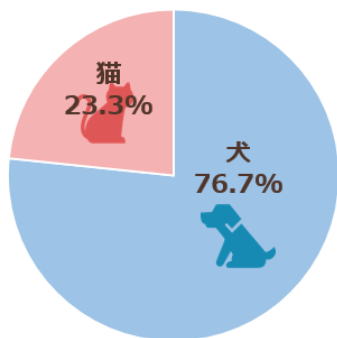
P's-first 直営店では、オークションなどの第三者を経由せず、全国の信頼できる契約ブリーダーからペットを直接取引しています。2026年3月1日から3月31日までにペッツファーストグループが取り扱ったペット、すなわち契約ブリーダーから引き受けたペットの頭数が2,063頭、そのうち犬が76.7%、猫が23.3%です。なお、3月度に引き受けたペットたちは294名の契約ブリーダーと取引いたしました。

また、ペットの心身の健康を守ることおよび、ペット業界の日齢偽装問題へ対する対策として、P's-first 直営店で取引するペットの取引日齢を法令で定められた生後57日齢以上から60日齢以上へ段階的に引き上げることを、2024年4月のニュースレターで発表しました。^{*1}

3月度も生後60日齢以上の割合は100%、すなわち契約ブリーダーと取引したすべてのペットが60日齢以上でした。

2026年3月度 契約ブリーダーとの取引について P's-first

犬猫の取引内訳



取引ブリーダー数



294名

取引日齢



集計期間：2026年3月1日～3月31日

*1：2024年4月23日発行ニュースリリース

[ペット販売の生後8週齢（56日齢）規制に対する私たちの考え方～生後60日齢での取引基準への引き上げに関するお知らせ～](#)

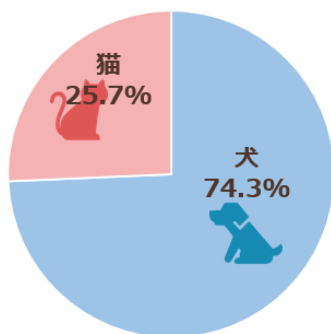
【ショップでのペット販売について】

P's-first 直営店での3月の販売頭数は1,791頭、内訳は犬が74.3%、猫が25.7%でした。販売時点での日齢平均は生後103日齢、店舗に在舍してからお客様に迎えられるまでの平均期間41日間でした。

また、ペットの衝動買い防止と責任ある終生飼育を推進するために、日頃お客様と接する際のご説明を徹底するだけでなく、P's-first 直営店でペットをお迎えされるすべてのお客様に対し、「ペットのお迎え前セミナー」の受講をお願いしております。^{*2} セミナーを受講いただいた1,792組のうち、ペットのご契約をされたお客様は1,791組で99.94%、ご契約をお見送りされたお客様は1組0.06%でした。なお、ペットのお迎え前セミナーは、[こちら](#)からご覧いただけます。

2026年3月度 ショップでのペット販売について P's-first

犬猫の販売内訳



販売時の日齢平均



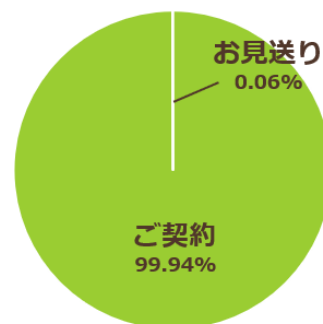
103日齢

在舍平均期間



41日間

お迎え前セミナー後の
契約割合



集計期間：2026年3月1日～3月31日

*2: 2025年3月26日発行ニュースリリース

ペットファーストは、ペットをご購入される前のご契約者様へ「ペットのお迎え前セミナー」を実施しています。
～ペットの衝動買いを抑え、責任ある終生飼養のために～

【譲渡/ペットケア&アダプションセンター日光の在舎について】

P's-first 直営店では販売前に疾患が発見され治療を行った上で、継続的なケアや検査などが必要となったペットは、“要ケアペット”として P's-first の店舗や、当社グループのケア施設「ペットケア&アダプションセンター日光」で里親探しをします。

2026年3月は P's-first 店舗から 15 頭・ペットケア&アダプションセンター日光から 2 頭の要ケアペットを里親様へと譲渡いたしました。また、3 頭は国内獣医大学へ移動し、譲渡にあたってのケアを受けています。(詳細につきましては、別途リリース予定です。)

そして、ペットケア&アダプションセンター日光には 3 月末時点で 46 頭が生活し、主に治療を終えた、または回復期にある 43 頭が里親を募集中です。なお、2 頭は里親探し代行サービスの猶予期間中のため募集待ち、1 頭は終生飼養を行う予定です。^{*3}

*3: 現在、里親募集中のペットなどの詳細は下記よりご確認いただけます。

https://nikko.pfirst.jp/contents/adoption_available/

【解約について】

3 月度には 7 頭が解約となりました。なお、返還されたペットは、当社がペットの将来に責任を持ち最良のご家族を探します。返還されたペットのうち、3 頭が既に新しいご家族に迎えられ、1 頭は契約ブリーダーへ返還となりました。3 頭は店舗にて新たなご家族を探しております。

【死亡事故について】

病気や疾患などが発見され、当社メディカルセンターやペットファースト動物病院内等で治療を施したものの、残念ながら発生した死亡事故数は 6 頭、店舗においての死亡事故数は 2 頭でした。

なお、店舗で亡くなってしまった 2 頭はいずれも体調異変後すぐに提携動物病院を受診したものの、容体急変により残念ながら入院中および処置中に息を引き取ってしまいました。

引き続き、ペットの体調不良のより早期での発見と動物病院スタッフの連携の強化を継続してまいります。

全体の死亡事故数は 8 頭、死亡率として 0.38%、亡くなったペットの死亡時時点での日齢平均は生後 84.6 日齢でした。なお、亡くなってしまったペットはメディカルセンターを経由し、田嶋山九品院にて埋葬供養を行いました。

【当社の在舎頭数について】

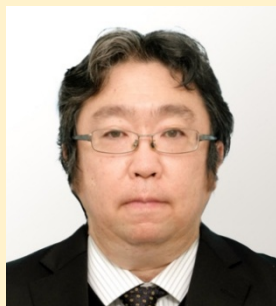
3 月末時点で当社に在舎するペットは 2,742 頭です。なお、2 月末時点では 2,488 頭でした。

2026年3月度において、ペットファーストグループで取り扱ったペットのうち、いわゆる売れ残りや行き先が分からないペットは一頭も存在しません。

■ 2026年3月度におけるペットの死亡事故と対策

ペットファーストグループは経営理念に沿い、“ペットの死亡事故ゼロ”を目指した社内の「死亡事故ゼロプロジェクト」で、ペットの病気の発生や死亡原因を獣医学に基づき分析して再発防止に向けての対策を講じています。

【死亡事故ゼロプロジェクト リーダー 稲富獣医師コメント】



ペットファーストウェルネス株式会社
取締役 獣医師
稲富 太樹夫

2026年3月の死亡事故数は8頭（前月比+3頭）、死亡率は0.38%（前月比+0.07%）でした。^{*4} なお、死亡原因の内訳は、低血糖2頭、呼吸器疾患1頭、消化器疾患1頭、その他2頭、原因不明2頭でした。

3月は、前月と比較して死亡頭数・死亡率ともに低い水準を維持しております。一方で、これからの数か月は例年、死亡事故が増加する傾向にあるため、引き続き十分な注意を払ってまいります。

また、前月に引き続き、低血糖による死亡が確認されました。寒暖差の大きいこの時期は、体調不良を契機として低血糖に至るケースも見られるため、温度管理および栄養管理の徹底に努めてまいります。

さらに、死亡原因には至っていないものの、感染症の発生も一部で確認されています。引き続き、迅速な検査による原因究明と、消毒をはじめとした環境整備を徹底してまいります。

昨年より導入したオンライン診療の活用など、ペットファーストウェルネス株式会社として、死亡事故ゼロの実現に向けた様々な取り組みを推進しております。

今後もペット一頭一頭の命を最優先に、グループ一丸となって着実に取り組みを進めてまいります。

※4： [前月度のマンスリーペットレポート](#)

■2026年3月度のペットの治療と、回復したペットの行方

死亡事故ゼロの実現には、疾病の予防だけでなく、疾病を患ってしまったペットの命を獣医療によって救うことも不可欠です。そのような場合、当グループでは、ウェルネス管理センターとペットファースト動物病院で治療を行い、十分な回復後に、再び店舗にて家族となっただけの方を探しています。3月度、ペットファースト動物病院にて治療後に回復したペットの一例を下記にご紹介します。

【胃腸炎、低血糖／ペットファースト動物病院 神戸三宮医院にて治療】



ペットファースト動物病院
神戸三宮医院 院長
上杉 翔 獣医師

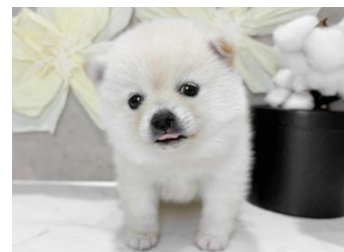
店舗より、食欲不振と体重減少が見られたため、お預かりしました。検査の結果、低血糖と低アルブミン血症が確認され、すぐに入院での治療を開始しました。

治療では、栄養を補う点滴に加え、抗生剤や下痢止め、吐き気止め、腸の動きを整えるお薬を使用しました。

翌朝には血糖値は改善しましたが、アルブミンの数値がさらに低下し、命に関わる可能性があったため、血管から直接アルブミンを補う治療を行いました。

その後は順調に回復し、夜には数値も改善。血糖値・アルブミン値ともに安定し、食欲も戻ったため、無事に退院となりました。

一時は心配な状態でしたが、早期に回復してくれて本当に安心しました。



▲店舗にて新しい家族との出合いを待っています

当社グループでは病気の予防と獣医療によってペットの命を守り、私たちが受け入れたすべてのペット

の家族を見つけて幸せなペットライフを送れるように、今後も改善を続けてまいります。同時に、情報を開示し続けることによって、あるべき健全なペットショップ運営を行います。

■会社案内

【会社名】 ペッツファーストホールディングス株式会社
【所在地】 〒153-0063 東京都目黒区目黒 1-24-12 オリックス目黒ビル 9F
【資本金】 100 百万円
【売上高】 14,659 百万円（2024 年度実績）
【従業員数】 1,255 名（うち獣医師 98 名 愛玩動物看護師 94 名※業務委託含む）2026 年 3 月末時点
【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦
取締役社長 COO 正宗伸麻
【ニュースレター】 <https://www.pfirst.jp/newsletter.html>

※2025 年 6 月 6 日、ペッツファーストホールディングス株式会社は、アークランズ株式会社のグループ会社となりました。

【会社名】 アークランズ株式会社
【所在地】 〒955-8501 新潟県三条市上須頃 445 番地
【資本金】 6,462 百万円
【売上高】 341,141 百万円（2026 年 2 月期）
【従業員数】 14,579 名
【代表者】 代表取締役会長 CEO 坂本晴彦
代表取締役社長 COO 佐藤好文

【その他】

アークランズ株式会社は「暮らし、満たす。こころ、満たす。」をスローガンに業界をリードする生活価値提供グループを目指し、ホームセンターの「ムサシ」、「ビバホーム」、とんかつ専門店「かつや」、からあげ定食専門店「からやま」等の「住」と「食」に関わる事業を展開します。独自の進化と変化を続ける事で専門性を極め、お客様の「もっと暮らしを豊かにしたい」というおもいにお応えします。

■お問い合わせ先

【本掲載内容について】
ペッツファーストホールディングス株式会社
総務本部 広報・CSR グループ
電話番号 03-6910-4500
担当者 西河・小野